

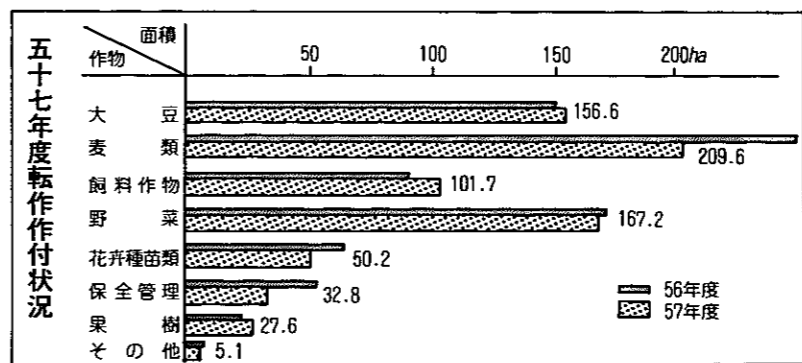
水田利用再編対策

58年度の転作目標面積は620.2ヘクタール



第二期対策にむけた複合営農の推進を

五十七年度の転作等実施面積は農家や農業関係機関、団体の努力により、七百四十八・八畧（目標達成率一〇〇・八割）と、目標値を上回ることができました。五十七年度の転作実施の特徴的なことは



① 水田利用再編対策が始まって五年を経過し、厳しい農業情勢の中にも、需要の動向に即した農業生産の再編を進めてきたこと
 ② 集落ぐるみの話し合いを重ね、土地の調整を行いながら、団地化を図ってきたこと
 ③ 麦、大豆など、土地利用型作物が普及するとともに、野菜、果樹などの点に集約され、栽培技術の向上と機械化による省力化も徐々に図られ、集団転作への取り組みが進んでいます。

五十八年度は、水田利用再編第二期対策の最後の年になります。全国的には昨年同様、異常気象等により三年連続の不作となりましたので、白根市への転作目標面積は、第二期目標面積七百二十六・八畧から百六・六畧が軽減された六百二十・二畧が配分されました。一方、五十八年度産米事前売渡申込限度数量は、三十万一千六百三十一俵（一俵六十粒）が配分されました。

- 転作引受組織の育成
- 転作田の連担団地化の促進
- 麦、大豆の種子確保対策
- 転作作物の栽培展示圃の設置と調査研究
- 機械施設導入に対して一部助成
- 土地基盤整備事業の促進
- 目標面積達成奨励対策
- 水田利用再編地域対策協議会の活動強化
- 農家組合、集落転作対策委員会の活動強化
- 農家組合長等研修事業の実施
- 水田利用再編対策事業資金の利子補給
- 啓蒙資料、技術対策資料の作成配布
- 技術講習会等の開催



駐在所で本署と電話連絡をとる白根さん



次々に白根さんの腰めがけてとび込んでくる



外は吹雪だ。ランニングで寒さを吹き飛ばす

優しいぼくらのお巡りさん

剣道を通して青少年の健全育成に努める 白根久一さん（警察官・白井）



82 2月号 広報うすい

白根久一さん 白井 警察官

「お知らせ I」

「お知らせ II」

「雑踏」

「広報うすい」は、白井駐在所で発行しているミニ新聞。白根さんが取材と編集を行い、奥さんが浄書を担当…。二人の意気もびつたです

新潟市生まれの白根さん。市内にこの姓は二世帯しかなく、しかも「しろね」と発音すると言う、珍しい白根市の白根さんです。白井駐在所に勤務して三年。忙しい公務の時間をさいて、子供たちに剣道を教えているお巡りさんです。白井地区武道振興会（遠藤末五郎会長）が行っている剣道教室からの指導依頼の打診を受けたのがきっかけで、「青少年の健全育成に少しでも役立てば」と始めたもの。二年半も続いています。

「ふざけたりすると時々怒るけど、優しく教えてくれるんだ。お巡りさんは怖いものと思っていたけど、優しいんだね。剣道？うまくなったよ」と子供たち。駐在所の仕事は想像以上に忙しく、巡回連絡やパトロール、交通取り締まりや捜査の手伝いなど深夜の出動も多い。白井地区の人たちは温か味があつて、とても親切ですね。信濃川を前にして、ここはすばらしい景勝地だと思いますよ」と白根さん。家庭では一児の父親でもあり、奥さんと二人三脚でがんばっています。

「増加の一步をたどる非行少年の更正に努めたいですね。将来は少年課で、少年を対象とした仕事をしたいと思っています」と、意欲満々です。